

# ORGANIC MOTHER LIFE

— 植物調合美容研究所 —

— 植物調合士® 継続 / 公式テキスト —







## LABO CONCEPT

コンセプト

植物調合美容研究所が目指すもの。

地方創生や地域課題に繋がる  
植物素材を用いて  
人と地域を共に美しくすることとは ...

## Message

世界と日本で厳選された植物素材を調合し、自分が欲しい化粧品を1本からマイクロロット生産出来る「LABO&COLLEGE」開校。

私たちは、ただオーガニック化粧品を大量製造したいわけではありません。  
通常3000本以上のロットが求められる化粧品製造において、一人でも多くの人が夢を諦めず、自分や誰かのためにオーガニック化粧品を植物選定から製造の一部を体験し「学ぶ」ことができる人と地域を共に美しくする体験型×学習型LABOが宮崎県国富町に登場します。

## 01. 国産・海外産の「化粧品原料量り売り」

主に海外産原料はオーガニック認証付き原料を仕入れ、国内の植物素材は自社工場にて石油系溶剤は一切使用せずに「化粧品原料化」を行います。「顔が見える素材」を中心に、原料は量り売りされます。

## 02. 耕作放棄地や農業残渣の「化粧品原料化」

日本に眠る貴重な資源を探し出し、それらを回収して新しい価値を生み出します。耕作放棄地や未収穫植物、農業残渣等をできる限り余すことなく化粧品や食品原料に加工することで、地域の社会課題と向き合い続けます。

## 03. 化粧品加工残渣の「食品化」

化粧品の原料加工を行う中で発生する「化粧品製造残渣」も出来る限りアップサイクルを行います。食品に使用できるように植物を粉末・液体化することで塗っても食べても美しくなる関連性の高い化粧品・食品作りを目指します。

## 04. 50本から製品化できる「化粧品製造業」

通常1000-3000本ロット以上で製造する「自然派化粧品製造」においてこの工場では50本から製造できる仕組みを整えています。オーガニック・エシカル化粧品を作りたい、という女性達の夢を叶えることを大切にしています。

## 05. 植物から製品化する「化粧品開発学科」

植物素材から化粧品を製造するための企画ノウハウを学べる「植物調合美容研究会」を併設しています。加えて学生達のインターンや職場研修等の受け入れも行っています。植物化粧品におけるものづくりの面白さや豊かさを、宮崎現地から全国へ発信しています。

## 06. 都心と地域がともに美しくなる「旅と仕事」

宮崎県の農家さんの取り組みを学んだり、宮崎LABOで行われる植物原料研究等の作業現場を体験したり、オーガニック・エシカル化粧品に関連する現場を開放しどんな方でもこの場所に訪れ、学びながら働ける環境をご用意しています。

「誰もが平等に、学びながら働ける」  
植物化粧品の研究製造を通じて、  
社会事業の学校を目指したい

日本全国で放棄されている植物原料は、有効活用されず捨てられています。それらを地元の方々と協力して回収し化粧品原料化することで、価値ある製品にアップサイクルしていく研究と活動を続けています。

そこに「学習」の場を設けて、社会活動に関心がある若者や女性達を集め原料採取から加工の現場を手伝っていただき、最終の製品化まで体験できることで「顔が見える化粧品作り」を伝えていくことを1番の目的としています。

学びながら働きたい方を、随時募集しています。

# Chapter 1

## 植物調合士® 継続クラスとは？

様々な天然・植物素材を用いて「植物調合」を行います。  
2023年2月で受講生100名を迎えたこの機会にリニューアルを行いました。

### Session

#### 植物調合士「継続クラス」の魅力とは？

宮崎県にも国富町に位置する株式会社オーガニックマザーライフの自社化粧品工場「ORGANIC MOTHER HOUSE® - 植物調合美容研究所 -」から派生して誕生した植物調合士® 資格講座は、化粧品工場を持つ弊社だからこそできる正真正銘のオーガニック化粧品作りを半年間掛けてお伝えしていく講座です。

オリジナル化粧品を自分用に作るだけでなく、ワークショップの開校や資格講座の開校（認定講師の活動）、挑戦したい方は「マイブランド」の作成も進学開発可能になりました。

### Point

#### 植物調合士が使用する10種類のマテリアルとは？

植物調合士は化粧品作成や施術、カウンセリングに、様々な植物素材を活用します。

- 1、芳香蒸留水 / 温泉水 フローラル / ミネラルウォーター
- 2、精油 エッセンシャルオイル
- 3、植物エキス ボタニカルエクストラクト
- 4、植物油 ボタニカルオイル
- 5、植物浸出油 インフューズドオイル
- 6、植物粉末 ボタニカルパウダー
- 7、鉱物 / 粘土 / 泥 ミネラルマテリアル
- 8、蝨 ロウ / ワックス
- 9、植物乳化剤 レシチン
- 10、植物飲料 ハーブティ / タンチュメール



## Curriculum

正真正銘のオーガニック化粧品作りの「製造と開発」について学ぶ6ヶ月

植物調合士継続クラスでは、半年間の講義を代表の坂田が担当いたします。

### 【第1講義】植物調合士とは何か

→「植物」から手作りで生まれる「植物調合化粧品」特徴と特性を学ぶ

- 制作物〈化粧水 / オイル / バームの調合〉
- ※基本の調合化粧品の作り方

### 【第2講義】自家製植物エキスの処方について

→「植物」から作るオリジナルエキスの処方と製造方法について学ぶ

- 制作物〈植物エキス / 2層式美容液 / スクラブの調合〉
- ※植物から化粧品を作る方法

### 【第3講義】自家製オーガニック化粧品の処方について

→「植物」から作るオーガニック化粧品の処方と計算方法について学ぶ

- 制作物〈乳液 / クリーム / オリジナル処方化粧品1種の調合〉
- ※天然乳化剤の使い方

### 【第4講義】様々な質感や特徴を生み出す処方について

→「植物」から作る様々な質感や特徴+安全性と安定性のある調合方法について学ぶ

- 制作物〈高粘度美容液 / 高保湿化粧水 / 高保湿オイルの調合〉
- ※防腐剤 / 増粘剤 / 抗酸化剤 / 脂肪酸の使い方

### 【第5講義】物語を生み出す化粧品ブランディングについて

→「植物」から作るオーガニック化粧品の世界観やブランディングについて学ぶ

- 制作物〈色遊び美容液 / 色遊び化粧水 / 色遊びメイクアップの調合〉
- ※色素と精油の混ぜ方

### 【第6講義】永く愛される手作り化粧品講座の作り方について

→「植物」から作る手作り化粧品講座のメニューや構成、運営、ビジネスについて学ぶ

- 制作物〈手作り植物石鹸 / 植物界面活性剤クレンジングの調合〉
- ※界面活性剤の使い方 / 鹼化のやり方



## Chapter 1

# 植物調合士を生かし方について

ご自身の化粧品を趣味の範囲で作成するところから発展したい方は  
下記の流れで自分のオリジナルスクールを「植物調合士®」として開講しましょう！

### vol.1 植物調合士としてワークショップを開催する

まずはオリジナル講座を作り「WSS 契約（仕入れ）」等をする事始めよう

自宅やサロン等で自身でオリジナルで処方したレシピを用いてワークショップを開いてみましょう。

- 1、「WSS 契約」等を行い原料を仕入れ、オリジナルの処方を何種類か作成し、試作→完成させる。
- 2、ワード等でオリジナルテキストを作成する。
- 3、ワークショップの費用、説明文、写真を用意し、インスタ等で金額設定含めて告知を行う。

### vol.2 植物調合士として「認定講師」になり資格講座を開く

ワークショップの生徒様に「資格講座（認定講師）」に案内していこう

ワークショップにお客様が集まるようになったら、次は「基礎クラス（資格講座）」に案内しよう。

- 1、「植物調合士基礎クラス 55,000 円」を案内して、右記の仕組みをもとに講座を開講しよう。
- 2、1名でも最初は OK！まずは講師として活動することに挑戦してみよう。（仕入れ契約必須）
- 3、続いて、応用クラスも開講できるように案内しよう。（認定講師研修はご相談ください）

### vol.3 オリジナル処方を商品化してマイブランドを立ち上げる

挑戦したい方はオリジナル処方を「マイブランド（自社商品開発）」に進もう

挑戦したい方は、マイブランド（自社製品）の開発に挑戦してみよう

- 1、講座内で制作した処方を製造処方として検査してみよう。（無償になりました）
- 2、安定性検査や物性検査をクリアしたら「植物調合美容研究会」へ進学し、見積もりを依頼しよう。（進学費用 / 1 種 45 万円プランの場合、**進学割引 106,000 円引き**の 344,000 円で 50 本前後の製造可能）

## Business

# 植物調合士「基礎クラス」を開催する方法

## 講師として活動するためのルールについて

### 1. 開催費用は「50000+tax」に統一

【手数料】+tax (5000 円分)

30% (材料お持ち込み)

40% (材料 OML から提供 / 一人分小分け)

※税抜 50,000 円の内、6-70% が講師料

### 2. 「植物調合士資格 / 基礎クラス」で名称は統一

※皆さんの肩書きは「植物調合士」で OK

### 3. レシピは右の 8 種を必ず調合すること

※皆さんの肩書きは「植物調合士」で OK

### 4. OML 本部から提供されるもの

【必ず提供されるもの】

オリジナルテキスト+専用テキスト+原料冊子

MAISON de NATUROPATHIE バック 1 個+認定書

【原料支給の場合】

+ 使用する原料小分け（精油以外）



■開催レシピ（弊社提供）

- 1、ソフトヘアワックス
- 2、オイル
- 3、2層式美容液
- 4、ローション
- 5、シュガースクラブ
- 6、バームクリーム
- 7、バスボム
- 8、バスソルト

（材料の多少のアレンジは OK）

※オリジナル処方会は開催しない

## OML 本校が開催する「植物調合士 / 単発クラス」との差別化

■ レシピ数 / 10種+オリジナル1種 → 8種に厳選（指定） ※素材は自由 ※ + one recipe ok

■ 授業時間 / 4 時間×3 日間 → 4 時間×2 日間に変更（指定） ※素材は自由 ※ + one recipe ok

■ 座学講師が坂田であるか、ないか

■ オンラインクラスがあるか、ないか（要相談）

## 「単発・継続クラス」で学べること

これまで開催されていた「基礎・応用」とは異なり  
4月から「単発・継続」に改定されました。

### 単発クラス 55,000 円 (2day/10h)

これまで開催していた「基礎クラス」と同じ内容がお安くなり、時間が短くなりました。

- 実技 / 座学研修 (1回 5h 開催 / 2日間) 個別日程で開催可能
- 10種+オリジナル処方でおニック化粧品処方と基礎的な調合座学を学ぶ  
(講師は引き続き、東京・通信担当 / 成田、大阪担当 / 能戸講師)

### 継続クラス 242,000 円 (6day/27h)

新たに座学+実技をリニューアルし、全て坂田が講師となって指導します。

- 座学研修 12 時間 (月 2h 開催 / 6ヶ月間)  
毎月第 3 土曜日 固定 / 10:00-12:00 (坂田講師)  
→土曜日に参加できない方は録画振替、または次回の同講座日(半年後)に振替
- 実技研修 15 時間 (月 2.5h 開催 / 6ヶ月間)  
毎月第 3 土曜日 固定 / 12:30-15:00 (坂田・成田講師)  
→土曜日に参加できない方は録画振替、または平日振替日に参加(成田講師)に振替、または次回の同講座日(半年後)に振替

#### ■ 通信 (オンライン) で継続クラスを受講する場合

必要な「備品」と「材料」を事前に開示します。

お持ちのものは重複している方は、必要なものだけを個別購入しても OK !  
全てお持ちでない方は、+20,000 円で備品・材料は全て提供 (返却不要) できます。



## 読み解いていきたい「植物調合処方」の世界

植物性だけで化粧品を作るためには  
4段階の学習が必要になります。

#### ■ 「基本の処方組成」を極める

化粧水なら、水+有効成分+防腐+賦香の処方。  
オイルなら、オイル+有効成分+抗酸化+賦香の処方。  
2層式美容液なら、水+油+有効成分+抗酸化+防腐+賦香の処方。  
バームなら、油+有効成分+抗酸化+賦香の処方。  
乳液やクリームなら、水+油+有効成分+増粘+乳化+抗酸化+防腐+賦香の処方。  
パウダーやメイクなら、粉体+有効成分+賦香の処方。  
作りたい化粧品が一体どんな「組成」なのかを学ぶと  
どんな化粧品も植物・天然成分 100% でオマージュできるようになっていきます!

#### ■ 「素肌に合わせた植物選び」を極める

お客様の素肌の悩みに合わせた様々なエキスを調合し、提案できる知識を身につけること。  
その場で、処方を組み替える技術も大切です。  
オマージュからオリジナルに変わる大切なエッセンスを加えていく学びを深めます。

#### ■ 「コンセプトやユーザーに合わせた色や香り、質感」を極める

お客様や処方のコンセプトに合わせて、色味や香り、質感を整えていく技術を身につけます。  
ただ処方通りに作るのではなく、色や香りを添加することでより個性的な化粧品が仕上がります。

#### ■ 「最後に安定性・安全性」を極める

ベースの素材に合わせて防腐、抗酸化、賦香、色、質感を整えたら、安定性と安全性を極めます。  
ここまでできれば「製品化」も夢じゃありません。

### Point

#### 「化粧品開発」は素人でもできるの？

誰でも手作り化粧品から化粧品開発処方を作ることができます。

そのためには、処方の作り方を学ぶことも大切ですが、開発依頼から製造完成、販売後のビジネスイメージも理解しておくことが重要です。製造には 50-100 万近くの費用がかかる可能性があります。大切なことは下記の考え方です。

- 初回製造は「初期費用」を 50 万円程度に抑えるために「単価」が高くてもブランドを構築することに注力を注ぎ、少ない本数を完売させるまでのスキルを身につける期間を作る。次回の製造費用の見積もりを取っておいて、貯蓄を行います。
- 次回製造は「追加製造費用」をしっかり用意して、希望通りの「単価=原価」に近づけて利益を生み出すブランドへと進化させていく必要があります。

## 継続クラスで作る 「18種類」の植物調合処方リスト

### 「水溶性処方」

#### ■ 植物調合士が作る「化粧水」の基本

水などを一切使用しない方法で化粧水のベースを作ります。例えば、水蒸気蒸留法で採取できる「芳香蒸留水」やミネラルを含む「温泉水や海洋深層水」など。そこに「水溶性抽出の植物エキス」でお好みの美容効果を添加していきます。最後に任意で「植物性防腐剤」などを入れていきます。

#### ■ 植物調合士が作る「美容液」の基本

美容液のベースにも水蒸気蒸留法で採取できる「芳香蒸留水」やミネラルを含む「温泉水や海洋深層水」などを使用します。「植物や天然の増粘剤や保湿剤」を使用し、とろみなどの保湿力を高めていきます。そこに「水溶性抽出の植物エキス」でお好みの美容効果を添加していきます。最後に任意で「植物性防腐剤」などを入れていきます。

### 「水溶性+油溶性処方」

#### ■ 植物調合士が作る「2層式美容液」の基本

化粧水と同様に、水層部分は水蒸気蒸留法で採取できる「芳香蒸留水」やミネラルを含む「温泉水や海洋深層水」など。そこに「水溶性抽出の植物エキス」でお好みの美容効果を添加していきます。最後に任意で「植物性防腐剤」などを入れていきます。

油層部分に関しては、「色付け」や「賦香」、「質感（脂肪酸で調整）」、例えば「発酵油」などの自己乳化作用のあるものを調合したり、2層に別れた状態で用途に合わせて配合を調整します。そこに「油溶性抽出の植物エキス（植物浸出油や圧搾種子油）」でお好みの美容効果を添加していきます。最後に任意で「植物性抗酸化剤」などを入れていきます。

### 「乳液系処方」

#### ■ 植物調合士が作る「乳液」の基本

乳液では、基本「界面活性剤」が調合に不可欠です。ただし、植物調合士で使用する界面活性剤は「植物性」または「限りなく天然成分」で代用していく特徴があります。例えば、「乳化剤（水添レシチン/大豆由来）」や「発酵油（表面張力の低い油）」で水分と油分を乳化させ、質感にとろみを生み出すために「植物や天然の増粘剤や保湿剤」したり。様々な工夫を施しながら、出来る限り「合成の界面活性剤」を使用しない形を提案します。ベースは水層と油層があるため、2層式美容液同様にそれぞれの層に植物調合を行い、最後に任意で「植物性防腐剤や抗酸化剤」などを入れていきます。

#### ■ 植物調合士が作る「洗顔」の基本

「植物合成界面活性剤」を使用したクレンジングオイルを作ることも可能です。「植物性乳化剤」の力で作るクレンジングミルクなども挑戦できます。

### 「固形処方」

#### ■ 植物調合士が作る「バーム」の基本

バームには、様々な「植物性及び動物性脂、ろう、バター、ワックス」を使用し「質感」などを整えていきます。湯煎することで沸点が低い脂は溶解し、そこに「色付け」や「賦香」、「質感（脂肪酸で調整）」、「油溶性抽出の植物エキス（植物浸出油や圧搾種子油）」でお好みの美容効果を添加していきます。最後に任意で「植物性抗酸化剤」などを入れていきます。

#### ■ 植物調合士が作る「石鹸」の基本

仮性ソーダ（水酸化 Na）から「植物油脂肪酸」を鹸化させ、お好みの洗浄力及び保湿力のある石鹸を一から作ることができます。液体石鹸素地（水酸化 Ka）を使用すれば、液体石鹸も作ることが可能。そこに「色付け」や「賦香」、「植物エキス（植物浸出油や圧搾種子油）」でお好みの美容効果を添加していきます。